

以外と知られていないのがグラウンドの構造です。グラウンドには目に見えるものとして水防用備蓄ブロック、水防資材としての竹材、ヘリポート、災害時の足となる自転車などが有りますが実はグラウンド自体が水防資材になっています。その為に堤防とグラウンドの境はシートで仕切られており必要な時には何時でも必要な土砂等が持ち出せる構造になっています。水防資材はこの外にも側帯でも備蓄しており、必要な量が確保します。なお、蛇足ですが石井の防災ステーションのトイレは24時間一般に開放しております。

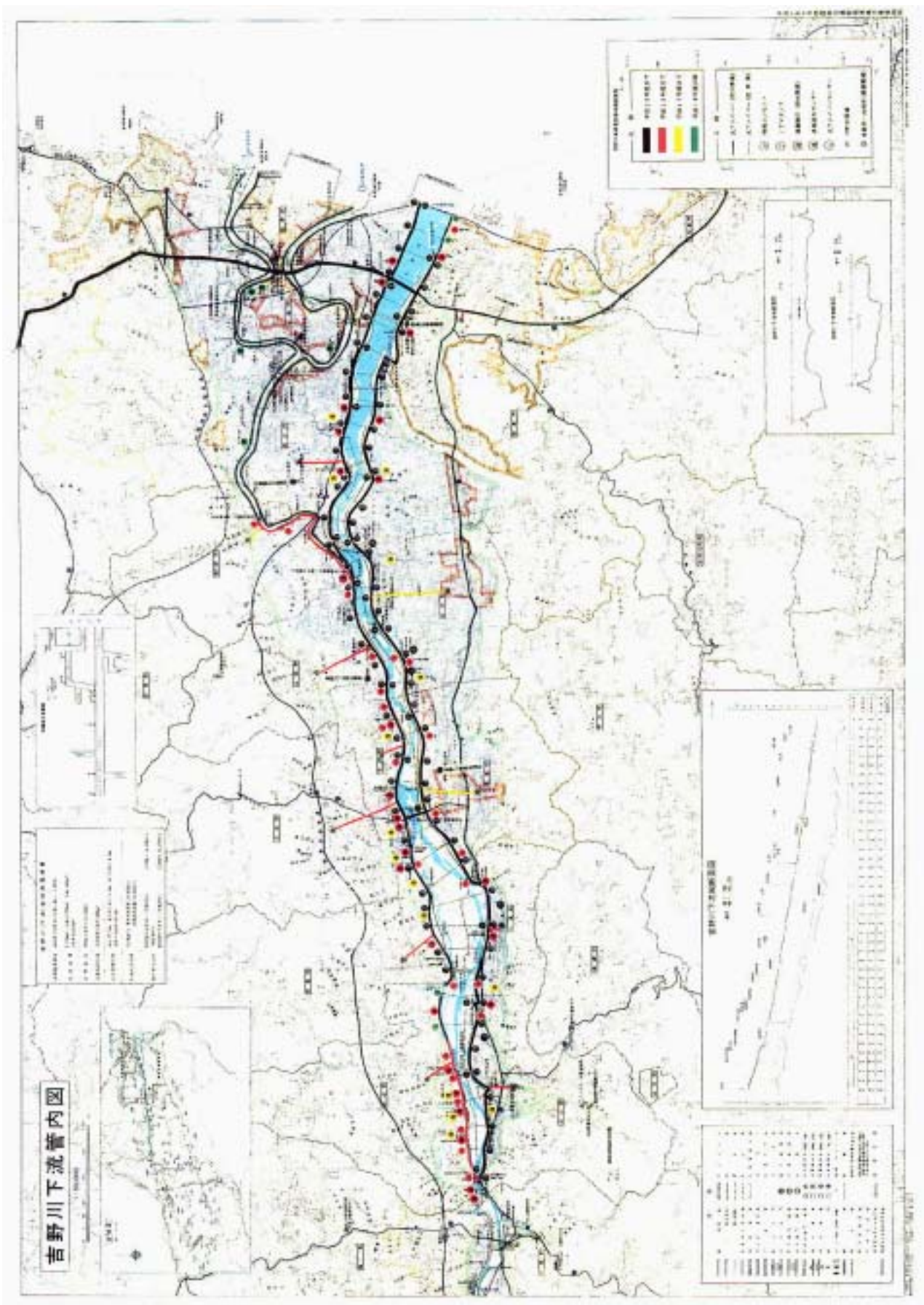
3) 光ファイバー

次に光ファイバー網の整備があります。光ファイバー自体は最近耳にする事が多いかと思いますが特徴としては大量の情報を瞬時に送れる事があります。この特性を活かして、平常時には河川管理の高度化のために利用されます。河川管理の高度化とはリアルタイムでの映像の伝送、水文データの伝送や樋門、排水機場の遠方監視、遠方制御が可能になります。災害時にはこれらの情報が瞬時に確実に得られます。皆さんも経験なされたかと思いますがNTT回線は震度4クラスの地震や重大災害に遭うと通話量の増大などのため回線が繋がらなくなります。これでは災害対応はできません。その為に独立した回線を確保し地域の安全を確保しようとするものです。

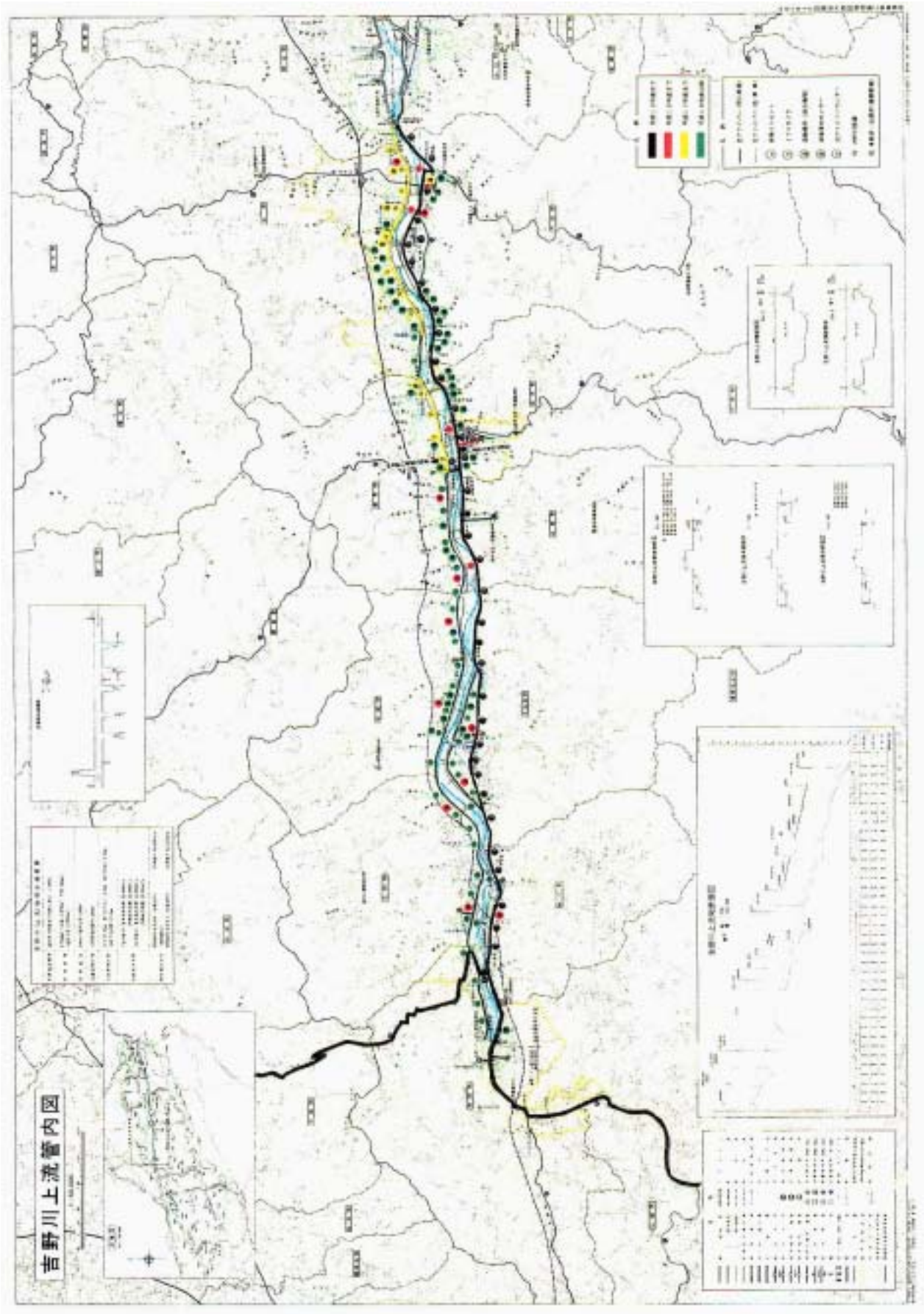
光ファイバーケーブル敷設状況

(単位：km)

	整備計画延長	整備済み延長(H12末)	残延長
吉野川右岸	77.7	75.7	2.0
吉野川左岸	77.7	32.6	45.1
旧吉野川	49.6	0	49.6
今切川	23.3	0	23.3



光ファイバー網図（下流）



光ファイバー網図（上流）